

大学教育再生加速プログラム（AP事業）は教育の質的転換を実現する具体的アクションであり、その中でもテーマⅣ「長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）」は、社会との接続による教育プログラムの先駆的事例を開発することが役割となっています。

本シンポジウムでは、テーマⅣ「長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）」採択校と高等教育関係者が一堂に会し、大学改革を支える教職員の協働による組織的取組の推進に向けて、長期学外学修プログラムの構想と改革の方向性について議論し、現状の課題を共有することを目的とします。本シンポジウムが、高等教育機関全体の教育の質的転換を牽引するための大学・学校間連携の契機となることを願っています。

AP事業テーマⅣ 「長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）」 合同キックオフシンポジウム

定員200名
参加費無料
事前申込制

～学外学修プログラム開発の構想と課題の共有～

■シンポジウム日程

日時 平成28年
12月3日(土)
13:00～17:00

場所 **ANAクラウン
プラザホテル新潟**

【住所】
新潟市中央区万代5-11-20

【アクセス】
JR新潟駅より徒歩10分
新潟空港より車で20分



《プログラム》

※時間配分等のスケジュールは若干変更される場合があります。

12:20～13:00
13:00～13:10
13:10～14:00

受付

開会挨拶 高橋 姿 (新潟大学 学長)

基調講演

- (仮題)
- ①大学教育再生加速プログラム（AP）事業の目的とその概要
井上 睦子氏 (文部科学省 高等教育局大学振興課 大学改革推進室 室長)
 - ②大学教育改革の四半世紀を振り返る
川嶋 太津夫氏 (大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 教授)

14:00～14:30

AP事業テーマⅣ幹事校プレゼンテーション

新潟大学におけるAP事業の取り組み

松井 克浩 (新潟大学 副学長 [学生支援・就職担当])

14:30～15:30

ポスターセッション

・テーマⅣに採択された各校の取り組みについてポスター形式の発表を行います。

15:30～16:50

パネルディスカッション

パネリスト：

阪野 智一氏 (神戸大学 学長補佐/教授)

湯田 ミノリ氏 (福岡女子大学 准教授)

津村 公博氏 (浜松学院大学 教授)

モデレータ：

澤邊 潤 (新潟大学 准教授)

16:50

閉会挨拶 大浦 容子 (新潟大学 理事[教育担当])

申込方法

ウェブサイト申込フォームで、お名前、所属、連絡先（メールアドレス）を記入の上、お申込みください。

お申込受付後に、確認メールを送付します。【申込締切】2016年11月28日(月)まで

ウェブサイト申込フォーム http://www.iess.niigata-u.ac.jp/nbas/detail.html?symp_idx=9 (右記QRコード)

※お申込み1週間後までに確認メールがない場合は、再度お問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



主催：新潟大学 教育・学生支援機構

【お問い合わせ】新潟大学 学務部学生支援課 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地 電話 025-262-6309